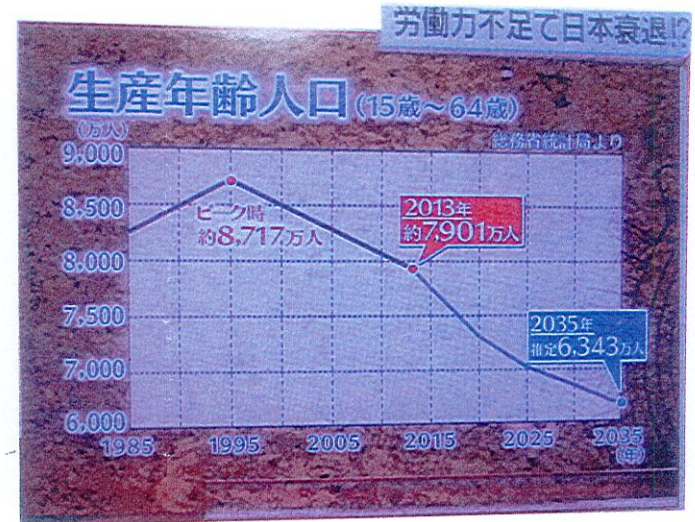


◆生産年齢人口が激減、労働力不足で深刻！

少子高齢化が進む中、生産年齢人口(15歳～65歳)は、1995年の8,717万人をピークに年々減少し、2013年には7,901万人となり、総務省統計局の予測では2035年には6,343万人に迄落ち込む。2014年の今年、早くも建設業や飲食業でその実態が顕著になりつつある。飲食業でも人手が集まらず閉店に追込まれたところも出て来ている。また、建設業においても大震災の復旧工事も思うように進んでいない。まして東京オリンピックの建設工事等人手が集まるのか?深刻な労働者不足は人件費の上昇にもつながり、今後、日本の衰退を助長するものもある。



◆イオン、首都圏で1.5兆円連合を目指す！



イオンは5月19日食品スーパー事業の再編を発表。マルエツやカスミなど3社が経営統合して国内最大の食品スーパーの子会社にする。手薄だった首都圏で食品の売上高はグループ全体で一気に5割増えて1兆5千億円に達し、トップシェアのセブン&アイ・ホールディングスに迫る。人口減による市場縮小や消費増税で市場環境が厳しくなる中、流通2強が、しのぎを削る形となる。

◆消費増税後4月の流通小売業の売り上げ！

全国スーパーの売上高は1兆42億円で、既存店ベースでは前年同月比5.4%減であった。食品スーパー食品業界3団体では既存店ベースで7,293億円で3.6%の減であった。野菜など生鮮品は前年を上回ったものの、米や飲料を含む一般食品が振るわなかった。コンビニの売り上げは既存店ベースで6,844億円で前年同月比2.2%減。また、百貨店は4,172億円で12%減を記録した。食品や日用品の80%に上昇傾向が見られた。



◆駅弁の歴史と今...⑤！

駅弁にはその歴史もさることながら、とんでもない代物がある、日本で「最高額の駅弁」をご存じだろうか、その名は「日光埋蔵金弁当」と言って金額はなんと15万7,800円。弁当箱に秘密があり、職人が丹精込めて作り上げた日光彫りの重箱と箸、他に器が付いてくる。東武日光線の売店で売られている。(駅弁読本から)

◆「食」のとり方が大きく変わっている！

最近ではスーパーなどでは「惣菜売り場」が年々売り場面積を広げている。核家族化が進み、若い単身者は簡単な弁当や総菜で食事を済ます。今、主婦はバイトに精を出し、帰って来て家族の食事を作るのは面倒とスーパーやコンビニの惣菜が主力となっている。高齢者は食事を作れない。また孤独な高齢者が多くなり、食品の素材を買って来て作るより弁当や総菜を買って来た方がはるかに安上がりと言う。また、冷凍食品も種類が増えて「レンジでチン」が圧倒的に増えている。今や「食品は素材から惣菜へと変化している。

◆対応の良さ日本一、アロンに聞けば何でも判る!親切、丁寧、スピード回答!



◆ 対応の良さ日本一!
アロンに聞けば何でも判る!
親切、丁寧、スピード回答!

◆ 食品容器・包装資材・総合商社 ◆

アロン・トレーディング株式会社

本社 東京都千代田区神田佐久間町1-14 ☎03-3257-1701(代)
 仙台営業所 仙台市青葉区中央4-8-17 ☎022-211-0701(代)
 札幌営業所 札幌市豊平区月寒西1条3-5-1 ☎011-853-2597(代)